



## 2026年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年8月8日

上場会社名 株式会社今仙電機製作所  
コード番号 7266 URL <https://www.imasen.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員  
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東 名

(氏名) 長谷川健一  
(氏名) 神谷明彦

TEL 0568-67-1211

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	20,963	10.1	29		67		190	
2025年3月期第1四半期	23,319	3.4	245		360	11.4	2,156	

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,472百万円 ( %) 2025年3月期第1四半期 533百万円 (127.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	8.79	
2025年3月期第1四半期	98.52	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	73,916	50,841	68.3	2,342.88
2025年3月期	78,331	53,041	67.3	2,420.47

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 50,502百万円 2025年3月期 52,704百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		7.50		12.50	20.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	4.6	1,200	204.9	1,200	134.5	1,350	35.2	61.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	23,475,352 株	2025年3月期	23,475,352 株
2026年3月期1Q	1,919,710 株	2025年3月期	1,701,010 株
2026年3月期1Q	21,621,410 株	2025年3月期1Q	21,892,604 株

期末自己株式数

期中平均株式数 (四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあるものの、物価高騰による実質賃金の停滞や円安の継続による個人消費の伸び悩み等により回復傾向は緩やかなものとなっております。海外におきましては、拡大する中東紛争や終結の兆しが見えないウクライナ紛争に加え、米国の関税政策による世界経済への影響や中国における不動産不況の継続等により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界におきましては、中国市場における日系メーカーの販売不振や米国における追加関税リスク等、依然として厳しい経営環境にあります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は20,963百万円（前年同期比10.1%減）となりました。営業利益は、減収ではあるものの、「業績の回復と事業成長」を中期の会社目標として、その実現に向けて9つの重点施策に取り組んでいる中、構造改革や原価低減活動の効果が確実に表れており29百万円（前年同期は245百万円の損失）となりました。経常損失は、前年同期に計上した為替差益が為替差損に転じたことにより67百万円（前年同期は360百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、前年同期に投資有価証券売却益を計上していた影響により190百万円（前年同期は2,156百万円の利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (a) 日本

自動車関連事業は微減となったものの、その他事業にて受注が増加したことにより、売上高は8,808百万円（前年同期比1.7%増）となりました。利益面では合理化および自動化による労務費抑制等、原価低減活動の効果はあったものの、新規受注に伴う開発費の増加により営業損失は515百万円（前年同期は179百万円の損失）となりました。

#### (b) 北米

生産品目の入れ替わりに伴うモデル末期機種が生産終了により、売上高は6,999百万円（前年同期比11.7%減）となりましたが、北米拠点集約および組み立てラインの自動化等の省人化、構内物流の合理化などの体質改善により、営業利益は330百万円（前年同期は72百万円の損失）となりました。

#### (c) アジア

タイおよび中国での生産減少により、売上高は5,155百万円（前年同期比23.4%減）となりましたが、希望退職に加え、現調化、組み立てラインの自動化による省人化などの体質改善により、営業利益は144百万円（前年同期は44百万円の損失）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (イ) 資産

当第1四半期末における総資産は、73,916百万円（前期末比4,414百万円の減少）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の減少（2,666百万円）、棚卸資産の減少（1,012百万円）、電子記録債権の減少（1,005百万円）などにより、48,220百万円（前期末比4,406百万円の減少）、固定資産は、投資その他の資産の増加（331百万円）、有形固定資産の減少（314百万円）、無形固定資産の減少（25百万円）により、25,696百万円（前期末比8百万円の減少）となりました。

##### (ロ) 負債

当第1四半期末における負債は、23,075百万円（前期末比2,214百万円の減少）となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少（1,114百万円）、電子記録債務の減少（481百万円）などにより18,686百万円（前期末比1,818百万円の減少）、固定負債は、長期借入金の減少（166百万円）などにより4,389百万円（前期末比396百万円の減少）となりました。

##### (ハ) 純資産

当第1四半期末における純資産は、50,841百万円（前期末比2,200百万円の減少）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は、166百万円（前年同期比70.4%減）、投資活動の結果減少した資金は、1,042百万円（前年同期は3,192百万円の増加）、財務活動の結果減少した資金は、245百万円（前年同期比71.4%減）となりました。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は13,636百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、166百万円の増加となりました。これは主として、売上債権の減少額が3,182百万円であったものの、仕入債務の減少額が1,644百万円、法人税等の支払額が665百万円、賞与引当金の減少額が453百万円であったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,042百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が1,205百万円であったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、245百万円の減少となりました。これは主として、短期借入金の純増額が779百万円であったものの、長期借入金の返済による支出が400百万円、配当金の支払による支出が272百万円であったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました予想から変更はございません。なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,230	14,305
受取手形及び売掛金	15,631	12,964
電子記録債権	5,162	4,157
棚卸資産	14,054	13,041
その他	2,764	3,930
貸倒引当金	△215	△179
流動資産合計	52,626	48,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,740	6,383
機械装置及び運搬具（純額）	5,603	4,972
その他（純額）	7,764	8,438
有形固定資産合計	20,108	19,794
無形固定資産		
その他	1,092	1,067
無形固定資産合計	1,092	1,067
投資その他の資産		
投資有価証券	2,246	2,733
その他	2,283	2,128
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	4,503	4,834
固定資産合計	25,704	25,696
資産合計	78,331	73,916
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,057	6,618
電子記録債務	5,024	4,542
短期借入金	700	1,443
未払法人税等	474	147
賞与引当金	850	397
製品保証引当金	109	98
その他	5,288	5,437
流動負債合計	20,504	18,686
固定負債		
長期借入金	573	406
退職給付に係る負債	1,280	1,271
その他	2,931	2,711
固定負債合計	4,785	4,389
負債合計	25,290	23,075

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,289	7,289
資本剰余金	7,041	7,041
利益剰余金	29,435	28,677
自己株式	△1,206	△1,347
株主資本合計	42,560	41,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,114	1,413
為替換算調整勘定	8,155	6,631
退職給付に係る調整累計額	874	795
その他の包括利益累計額合計	10,144	8,840
非支配株主持分	337	339
純資産合計	53,041	50,841
負債純資産合計	78,331	73,916

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	23,319	20,963
売上原価	21,592	19,288
売上総利益	1,727	1,674
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	426	338
給料手当及び賞与	587	564
賞与引当金繰入額	49	52
退職給付費用	12	10
減価償却費	30	34
その他	867	644
販売費及び一般管理費合計	1,972	1,644
営業利益又は営業損失(△)	△245	29
営業外収益		
受取利息	24	27
受取配当金	79	31
受取補償金	—	0
為替差益	542	—
持分法による投資利益	9	38
その他	41	59
営業外収益合計	698	156
営業外費用		
支払利息	70	26
支払補償費	1	1
為替差損	—	144
その他	19	81
営業外費用合計	92	253
経常利益又は経常損失(△)	360	△67
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	2,990	0
特別利益合計	2,992	3
特別損失		
固定資産処分損	4	1
特別退職金	65	—
減損損失	—	5
特別損失合計	70	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,283	△71
法人税、住民税及び事業税	595	196
法人税等調整額	511	△85
法人税等合計	1,107	111
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,175	△182
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	7
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,156	△190



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,175	△182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,194	299
為替換算調整勘定	583	△1,510
退職給付に係る調整額	△31	△79
その他の包括利益合計	△1,641	△1,290
四半期包括利益	533	△1,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503	△1,493
非支配株主に係る四半期包括利益	30	20

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,283	△71
減価償却費	738	767
減損損失	—	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△441	△453
製品保証引当金の増減額(△は減少)	—	△17
受取利息及び受取配当金	△104	△59
支払利息	70	26
特別退職金	65	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,990	△0
固定資産処分損益(△は益)	2	△1
売上債権の増減額(△は増加)	2,430	3,182
棚卸資産の増減額(△は増加)	5	115
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,873	△1,644
その他	△318	△1,031
小計	868	804
利息及び配当金の受取額	103	66
利息の支払額	△71	△25
法人税等の支払額	△334	△665
特別退職金の支払額	△3	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	562	166
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	71	161
有形固定資産の取得による支出	△733	△1,205
有形固定資産の売却による収入	—	18
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却による収入	4,023	0
その他	△166	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,192	△1,042
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△110	779
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△399	△400
リース債務の返済による支出	△172	△171
自己株式の取得による支出	—	△140
配当金の支払額	△131	△272
その他	△143	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△856	△245
現金及び現金同等物に係る換算差額	352	△34
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,250	△1,154
現金及び現金同等物の期首残高	11,175	14,412
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	378
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,426	13,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,664	7,926	6,728	23,319	-	23,319
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,415	2	1,413	4,831	△4,831	-
計	12,080	7,928	8,141	28,150	△4,831	23,319
セグメント損失(△)	△179	△72	△44	△296	50	△245

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	合計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	8,808	6,999	5,155	20,963	-	20,963
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,668	0	1,436	4,104	△4,104	-
計	11,476	6,999	6,591	25,067	△4,104	20,963
セグメント利益又は損失(△)	△515	330	144	△39	69	29

(注) 1. セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日の海外連結子会社は、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、意思決定の迅速化や管理体制の効率化を図り当社グループ一体となった経営を推進するとともに、業績等の経営情報の適時・適切な開示により、経営の透明性をさらに高めるため、当第1四半期連結会計期間より、今仙電機股份有限公司、イマセン フィリピン マニュファクチュアリング コーポレーション、イマセン ビュサイラス テクノロジー インク、イマセン マニュファクチュアリング (タイランド) カンパニー リミテッド、イマセン マニュファクチュアリング インディア プライベート リミテッド、ピーティー・イマセン パーツ インドネシアは決算日を3月31日に変更し、広州今仙電機有限公司、武漢今仙電機有限公司、イマセン メキシコ テクノロジー エス エー デ シー プイは、連結決算日である3月31日に仮決算を行い、連結する方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2025年1月1日から2025年3月31日までの3ヶ月の損益については利益剰余金で調整する方法を採用しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。